

# My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

## 漁業者 200 人がツワブキ植栽

緊急雇用創出基金事業

10月21日、町は県の緊急雇用創出基金事業を活用して、県道47号沿いにツワブキを植栽しました。

これは、「石積みと花のまち」を推進する町が、赤潮被害に遭った漁業者約200人の雇用創出を図る目的と、イベントの集中する今秋、来客を黄色い花で出迎えるため、約1万5千株を植えたものです。



↑赤崎の花壇にツワブキを植える漁業者たち

↓収穫を終えた組合員たち



## 旅館組合がサツマイモ収穫 泊客を心のもてなし

旅館組合がサツマイモ収穫

10月15日、長島地区ホテル旅館組合は蔵之元の畑約20アールでサツマイモを収穫しました。

これは、町のイベントが目白押しの今秋、宿泊客に特産品を無料提供し、宿泊客の増を図ろうと実施されたもので、とれたサツマイモは宿泊客にお土産としてプレゼントされます。

同組合の竹之内重信組合長は「長島を訪れてくれた人に感謝し、心のもてなしをしたい」と話しました。

## 文化の違いに理解深める

幣串小が留学生ら招き交流

幣串小学校は10月26日、青年海外協力隊としてコスタリカで活躍された塚田拓さんとタンザニアからの留学生ジョージ・ムサリヤさんを招いて授業を開き、全校児童15人が国による文化の違いについて理解を深めました。

塚田さんからは、外国の人と出会ったり、1人で外国へいって言葉が通じないときは、ジェスチャーで意志を伝わすことができることを学び、ジョージさんからは、タンザニアの子どもたちのことや生活の様子、言葉などについて教えてもらいました。

5年生の池田翔君は「ジョージさんは最初はしゃべりにくそうだったけど、やさしくて楽しかった」と話していました。

この学習を通して、児童たちはこれからの自分の生活や地域を見つめ直し、今後の成長につなげてくれることでしょう。



↑塚田さんやジョージさんと一緒に給食を楽しむ児童たち



←ジョージさんの息子ピーター君も来校。児童たちと鬼ごっこで交流